

2021-22 年度 RI 会長テーマおよびメッセージ  
西村美智子次年度会長

- ・世界各地で女子は多くの問題に直面しており、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるように導きます。

2021-22 年度 RI 会長  
シェカール・メータ氏



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

**シェカール・メータ RI 会長エレクト**

カルカッタ-マハナガル・ロータリークラブ（インド、西ベンガル州）に所属。

**「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」**

メータ氏は、ロータリー国際協議会中の 2 月 1 日、次期地区ガバナーに向けて 2021-22 年度の会長テーマを発表しました。

今日、奉仕のニーズはさらに高まり、明白になっています。ですから、来るロータリー年度には、人びとのために奉仕し、その人生をより豊かにするために援助していただけるよう、切にお願いいたします。この理由から、2021-22 年度の私たちのテーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives) といたします。

奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。

ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。

**キーメッセージ**

**「もっと行動し、もっと成長する」**

「もっと行動し」とは、より大きく、インパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。

「もっと成長する」とは、会員を増やし、参加者基盤を広げることを意味します。

**大きなインパクトをもたらすプロジェクトと会員数を 130 万人とする課題**

地域社会にインパクトをもたらすプロジェクト、国や世界の人びとの人生を豊かにする持続可能なプロジェクトを実施してください。

夢は、2022 年 7 月 1 日までに史上初めて会員数を 130 万人に増やすことです。

**「女子のエンパワメント」**

**「多様性」はロータリーの中核的価値の 1 つ**

- ・多くの場合、女子は不利な立場に置かれることが多く、私たちが女子のエンパワメントに取り組むことが重要です。
- ・ロータリーはすべての子どもに奉仕しますが、次年度は特に「女子」に焦点を当てます。